

以下の記載は、表題の診療ガイドラインから漢方製剤に関する記述を抽出したものです。診療において漢方製剤を使用される場合には、必ず、ガイドライン全体をお読みになり、その位置づけを正しく理解された上で行ってください。

ガイドラインのバージョンは最新のもののみを掲載しています。改定がなされていないガイドラインは、そのまま掲載しています。このガイドラインとその中の漢方の記載を、診療の参考にすべきかどうかの判断は、使用者の責任で行ってください。

産婦人科診療ガイドライン 産科編 2023

日本産科婦人科学会, 日本産婦人科医会, ガイドライン産科編 2023 作成委員会

(委員長 三浦清徳 長崎大学病院産婦人科)

日本産婦人科学会事務局 2023 年 8 月 28 日発行

Minds 掲載 有

Grading Scale of Strength of Evidence

I: よく検討されたランダム化比較試験成績, システマティック・レビュー, メタ解析

II: 症例対照研究成績あるいは繰り返して観察されている事象

III: I, II 以外, 多くは観察記録や臨床的印象, または権威者の意見その他, ガイドラインや報告書等の記載を行っている

Grading Scale of Strength of Recommendation

A: (実施すること等が) 強く勧められる

B: (実施すること等が) 勧められる

C: (実施すること等が) 考慮される(考慮の対象となるが, 必ずしも実施が勧められているわけではない)

■1 ショウガ粉末

疾患:

妊娠悪阻

CPG 中の Strength of Evidence

III: I, II 以外, 多くは観察記録や臨床的印象, または権威者の意見その他, ガイドラインや報告書等の記載を行っている

CPG 中の Strength of Recommendation

C: (実施すること等が) 考慮される(考慮の対象となるが, 必ずしも実施が勧められているわけではない)

引用など:

American College of Obstetricians and Gynecologists: ACOG Practice Bulletin No. 189: Nausea And Vomiting Of Pregnancy. *Obstetrics & Gynecology* 2018; 131:e15-e30. PMID: 29266076

有効性に関する記載ないしその要約:

『CQ201 妊娠悪阻の治療は?』に対して、下記の記載がある。

『Answer 3. 悪心の緩和に、ビタミン B6 (Pyridoxine) を投与する。

解説: 欧米ではショウガ粉末が「つわり」症状の軽減に有効として広く推奨されている。』

■2 ショウガ粉末

疾患:

妊娠悪阻

CPG 中の Strength of Evidence

I: よく検討されたランダム化比較試験成績, システマティック・レビュー, メタ解析

CPG 中の Strength of Recommendation

C: (実施すること等が)考慮される(考慮の対象となるが, 必ずしも実施が勧められているわけではない)

引用など:

1) McParlin C, O'Donnell A, Robson SC, et al.: Treatments for Hyperemesis Gravidarum and Nausea and Vomiting in Pregnancy: A Systematic Review. *JAMA* 2016; 316: 1392-1401. PMID: 27701665

2) Safari HR, Fassett MJ, Souter IC, et al.: The efficacy of methylprednisolone in the treatment of hyperemesis gravidarum: a randomized, double-blind, controlled study. *American Journal of Obstetrics & Gynecology* 1998; 179: 921-4. PMID: 9790371

有効性に関する記載ないしその要約:

『CQ201 妊娠悪阻の治療は?』に対して、下記の記載がある。

『Answer 3. 悪心の緩和に、ビタミン B6 (Pyridoxine) を投与する。

解説: 欧米ではショウガ粉末が「つわり」症状の軽減に有効として広く推奨されている。』

備考:

ショウガ粉末に対する推奨度ではないため、タイプ B とした。